

令和 3 年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

農林水産部

目 次

| | | |
|-----|----------------------|----|
| I | 令和3年度農林水産部主要施策の成果の概要 | 1 |
| II | 主要事業の内容及び成果 | 7 |
| III | 歳入歳出決算額 | 29 |
| 1 | 一般会計決算額 | 29 |
| (1) | 歳入決算額 | 29 |
| (2) | 歳出決算額 | 30 |
| 2 | 特別会計決算額 | 31 |
| (1) | 歳入決算額 | 31 |
| (2) | 歳出決算額 | 32 |

I 令和3年度農林水産部主要施策の成果の概要

本県の農林水産業は、就業者の高齢化・減少による担い手不足，経済グローバル化の進展による競争の激化に加え，新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会変化をはじめ，気候変動による影響や自然災害の増加，スマート技術の進展など，変革期を迎えている。

このような状況を踏まえ，「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」を改定し，計画初年度である令和3年度は「ニューノーマル（新しい日常）への対応」，「危機事象に備えた『食料生産・供給体制』の強化」，「『スマート農林水産業』の実装と労働力確保」，「サステイナブル（持続可能）な農林水産業の実現」の4つを施策推進の柱とし，新たな取組を推進した。

1 ニューノーマル(新しい日常)への対応

(1)「しなやかな」とくしまブランドの展開

もうかる農林水産業の実現を図るため，「TurnTable」を販売拠点とした首都圏飲食店等への外商機能の強化や，市場流通関係機関との連携により内食需要拡大に対応する大消費地での販売拡大に取り組むとともに，航空貨物等を利用した物流システムの実装による首都圏への輸送や，東北・北海道などの新たな市場への販路開拓，リモートツールを活用したプロモーション展開など，WITHコロナ・アフターコロナ時代に即し，消費者のニーズや行動変容に対応する「しなやかな販売戦略」をとくしまブランド推進機構との連携により推進し，徳島県産品の認知度向上と販売拡大に取り組んだ。

(もうかるブランド推進課)

(2)選ばれる6次産業化の促進

県産農林水産物の新たな付加価値を生み出し，消費拡大や需要創出を図るため，6次産業化や農工商連携に向け，生産者と食品加工事業者，流通関係事業者等多様な関係者のネットワーク構築を促進するとともに，大学や金融機関，市町村等と連携し，新商品開発やオンライン等を活用した首都圏での販路開拓等の支援に取り組んだ。

また，オープンラボ機能を備える「六次産業化研究施設」の活用を促進し，生産者や大学生等による加工品の開発を支援するとともに，6次産業化人材の育成を図った。

(もうかるブランド推進課，農林水産総合技術支援センター)

(3)戦略的な海外展開

「デジタル技術の徹底活用」や「販売のマルチチャネル化」等，次のフェーズを見据えて，「販売ルートを『より太い幹』に育てる」ため，東・東南アジアにおける重点的なプロモーション活動の実施，「大胆な発想と知恵で『新たな市場』にチャレンジする」ため，EUにおける「とくしま三大香酸かんきつ」や県産ハラル商品の販路拡大，「新たな『物流ルート』の構築」，「海外市場の開拓に取り組む『多様な主体』を育む」ため，国内外のビジネスパートナーの発掘，「相手国の輸入規制をクリアする『輸出型園地』の育成」の5本柱の戦略で世界の食市場にチャレンジした。

さらに，東・東南アジアで展開する「県産材ショールーム」を「県産材情報発信・技術交流拠点」として活用を図るとともに，WEB商談会の開催や海外向けのPR宣材を作成した。

(農林水産政策課，もうかるブランド推進課，スマート林業課)

(4)移住定住に向けた都市農村交流の促進

農山漁村が持つ豊かな「自然」や「食」を活用し，農山漁村の活性化を図るため，県内各地の特徴ある「農林水産業」やそれにまつわる「食」，「景観」，「伝統行事」などの「むらのたから」の情報を発信するとともに，農林漁家民宿への受入体制の支援等による「農泊」の推

進や、里山のにぎわい創出を図る「かんきつテラス徳島」での学生フィールドワークの活動への支援、企業・大学・NPO法人等の「農山漁村（ふるさと）協働パートナー」と「農山漁村の地域住民」との農作業等の協働活動を通じて、都市と農山漁村の交流を促進した。
(鳥獣対策・ふるさと創造課，農林水産総合技術支援センター，農山漁村振興課)

2 危機事象に備えた「食料生産・供給体制」の強化

(1) 自然災害や家畜伝染病等への対応

① 南海トラフ・直下型地震への対応

「『とくしまー0作戦』地震対策行動計画（徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画）」に基づき、海岸保全施設の調査、補強・整備や農業用ため池の整備、農業水利施設の耐震対策、農林道の整備による緊急輸送ネットワークの確保対策等を推進した。

また、南海トラフ巨大地震による津波や内陸部の直下型地震により甚大な被害が想定される農地や土地改良施設などにおいて、被災後、速やかに営農を再開できるよう、「農業版BCP（業務継続計画）」の実効性の向上を図るとともに、復旧・復興の迅速化に向けて、「津波浸水地域」や「中央構造線・直下型地震地域」、「山地災害地域」、「洪水浸水地域」など「防災・減災対策関連の重点エリア」における地籍調査を一層促進した。

さらに、「県漁業版BCP」に基づき、漁業関係団体におけるBCP策定を支援するとともに、県が作成した「徳島県海上避難ガイドマップ」に示した避難海域や航路の周知を図り、漁業者の安全確保対策を推進した。

(水産振興課，農山漁村振興課，生産基盤課，森林整備課)

② 自然災害への対応

荒廃林地の早期復旧はもとより、頻発化・激甚化する豪雨災害をはじめ、流木・地すべり、高潮、津波などによる被害の防止・軽減を図るため、治山施設及び農業用ため池の整備並びに海岸保全施設の調査・修繕を行うほか、倒木被害の未然防止を図る事前伐採を行うとともに、危険箇所の日常点検等を推進するなど、ハード・ソフト両面からの計画的な防災・減災対策により、農山漁村地域の強靱化に取り組んだ。

(生産基盤課，森林整備課)

③ 家畜伝染病への対応

高病原性鳥インフルエンザ，豚熱（CSF）などの家畜伝染病発生リスクが高まっていることから、定期的な情報収集やサーベイランス，防疫資材の備蓄，防疫演習の実施など，家畜伝染病の発生予防・まん延防止に向けた危機管理体制を強化した。

(畜産振興課)

(2) 強靱な生産基盤の整備

① 農業生産基盤の整備及び保全

グローバル化の進展に対応し、経営規模の拡大や水管理の省力化による高収益作物の増産、品質向上など収益性の高い経営を実現するため、ほ場の整備、農業用水のパイプライン化など、農業生産基盤の整備を推進するとともに、安定的な農業経営を支えるため、老朽化した農業水利施設等の機能診断に基づく農業生産基盤の保全に努めた。

また、農業生産の基盤である農地の利用の効率化・高度化及び有効活用を図るため、「農地中間管理機構」との連携により、規模拡大を志向する多様な担い手への農地の集積を促進した。

(農林水産政策課，生産基盤課)

②林業生産基盤の整備及び保全

森林情報の3次元化をはじめとしたICTの活用による路網計画や施業計画の省力化、森林環境譲与税を活用した「新たな森林管理システム」を市町村が円滑に推進するための支援を行うほか、森林境界の明確化や施業地の集約化を促進するとともに、生産性の向上と森林の適切な管理に不可欠な林道・林業専用道・森林作業道等の林内路網ネットワークの整備を推進した。

また、県有林化の推進や市町村有林化を支援する「徳島県公有林化等推進基金」により、水資源及び県土の保全機能の高い重要な森林の取得を推進するとともに、「保安林」及び「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づく「県版保安林」の指定を拡大し、水源のかん養や土砂災害の防備など森林が持つ公益的機能の維持増進や、無秩序な開発の防止など森林の保全に努めた。

(スマート林業課, 森林整備課)

③水産基盤の整備及び保全

生産性が高く安全で快適な漁村づくりを行うため、漁港施設及び海岸保全施設の整備を計画的に推進した。

また、漁港施設等の長寿命化や更新コストの平準化・縮減を図る対策を推進した。

さらに、環境に与える負荷の軽減や漁業被害の防止を図る掃海作業を支援するとともに、沿岸域の漁業資源を維持・増大させるため、産卵場や幼稚魚の育成場として重要な役割を果たす藻場の造成を推進した。

(生産基盤課)

(3)水田・園芸農業の振興

①水田農業の振興

活力ある多様な水田農業の実現を図るため、高温耐性品種「あきさかり」の生産拡大や規模拡大に向けたスマート技術の導入支援による競争力強化、県産酒米を100%使用した地酒ブランド「阿波十割」の展開による酒米の生産拡大など、需要に応じた「徳島ならではの」米づくりを推進した。

また、「経営所得安定対策」を活用し、耕畜連携の強化による飼料用米の地域内流通の促進、海外市場向け米・加工用米等の生産拡大など、水田のフル活用による経営の安定化を図った。

(農林水産政策課, もうかるブランド推進課)

②園芸農業の振興

本県の農業を支える園芸品目の生産振興を図るため、主要品目ごとの栽培技術、出荷調整作業及び物流に係る課題解決の実践や広域的な産地間連携の推進により、園芸産地のリノベーションを加速し、生産拡大を図った。

また、「とくしまブランド推進機構」及び農業関係機関と連携し、関西・首都圏の消費者ニーズを踏まえ、野菜の新品目・新作型の導入、果樹や花きの生産技術の向上等を推進し、マーケットイン型産地の育成を図った。

さらに、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市場価格の低迷や需要が冷え込むなどの影響を受けた「すだち」や「つまもの」について、遠隔消費地での新たな需要開拓、付加価値向上対策等に取り組むとともに、県産花きの需要喚起に向けたフラワーアレンジメントの展示及びPRを実施した。

(農林水産政策課, もうかるブランド推進課)

(4) 畜産業の振興

「阿波尾鶏」をはじめとした県産畜産ブランドの新たな流通・販売スタイルの確立、海外展開を見据えた「畜産GAP」や「農場HACCP」の認証取得の支援、「JGAP家畜・畜産物」等を要件とした県産牛肉のプレミアムブランド「とくしま三ツ星ビーフ」の認定など、国内外の需要を取り込むための環境整備を図り、県産畜産ブランドの強化に取り組んだ。

また、経営安定制度の円滑な運用、畜産クラスター事業等による地域連携や自給飼料に対する支援など生産コスト低減の取組みを進めるとともに、畜産物の高品質化・6次産業化の支援など、中小・家族経営も含めた生産基盤の強化を図った。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、影響を受けた畜産農家に対し、需要拡大につながる事業を実施した。

(農林水産政策課，畜産振興課)

(5) 林業・木材産業の振興

本格的に利用時期を迎えた森林資源を背景に、県産材の更なる増産と消費拡大による林業の成長産業化を実現するため、「航空レーザ測量」での3次元の資源データを活用した効率的な路網整備や搬出間伐につなげるほか、主伐にも対応した先進林業機械の導入や木材加工施設の効率化、大幅な需要の拡大が見込まれる木質バイオマスの供給体制の整備を支援するなど、「スマート林業プロジェクト」を展開した。

また、需要の大きい住宅や内装材への県産材利用を促進し、県内需要を拡大するとともに、首都圏等で展開してきた販路拡大の成果を、広く活用するとともに、需要が旺盛な海外への販路を開拓するなど、更なる県産材の需要拡大を図った。

さらに、ウッドショック対策として、「県産材回帰」を加速するため、川上においては高性能林業機械の導入を拡大し、川下においては構造材・品質確保に向けて、人工乾燥機の導入を進めた。

(農林水産政策課，スマート林業課)

(6) 水産業の振興

本県水産業の潜在的な可能性を最大限に引き出し、「もうかる漁業」の実装による「水産業の成長産業化」を図るため、水産資源の持続的な利用と増産に向けた資源管理型漁業や栽培漁業を推進するとともに、漁協等が行う共同利用施設や機器の整備など、漁業生産力を強化する取組みを支援した。

また、「はも」や「鳴門わかめ」をはじめとする県産水産物の更なるブランド力向上や消費拡大に向けた食育・魚食普及等の取組を推進し、競争力の高い産地づくりを目指した。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大による「魚価の下落」、「在庫の滞留」等により、厳しい局面にある漁業関係者の事業継続を図るため、県産水産物の「需要喚起」に向けた「販売促進活動」等を支援した。

(農林水産政策課，水産振興課)

3 「スマート農林水産業」の実装と労働力確保

(1) スマート農林水産業の実装

労働力不足の解消や生産性の飛躍的な向上を図るため、産学官連携拠点「サイエンスゾーン」を核としたオープンイノベーションにより、作業の自動化による超省力化やデータに基づく多収・高品質生産を実現するスマート技術の開発と現場実装を推進した。

また、農林水産総合技術支援センター内の「ローカル5Gエリア」において、特性を生かした、リアルタイムの高精細映像による「遠隔栽培指導システム」などの実装に取り組んだ。

(水産振興課，農林水産総合技術支援センター)

(2) 農業・畜産業の多様な人材育成・確保

「アグリビジネスアカデミー」において、現場のニーズや新たな技術習得に対応したリカレント研修体系の強化を図り、実践力の高い人材を育成するとともに、「農業大学校」において、遠隔指導体制やITセンサーを活用したスマート農業モデル園地を整備し、スマート農業技術を駆使できる次世代の担い手を育成した。

また、経営が不安定な独立就農初期等における資金給付やインターンシップの充実、農業法人等への技術習得研修の支援を通じて、新規就農者の育成・確保に努めた。

さらに、6次産業化をはじめ、女性の視点を活かした経営の多角化への挑戦を支援し、女性農業者の活躍を促進するとともに、障がい者と農業者のマッチング促進、アクティブ・シニアのリカレント教育、外国人の雇用促進など、幅広い人材を活用した労働力確保の支援に取り組んだ。
(農林水産総合技術支援センター)

(3) 林業・木材産業の多様な人材育成・確保

現場の即戦力を育成する「とくしま林業アカデミー」での担い手の育成・確保に努めるとともに、フォレストキャンパスを活用した小中学生向けの出前授業・高校生に対する実践研修の実施、大学生に対する研究フィールドの提供及びアクティブなシニアの活力を生かした植林隊への参入など、林業就業者の裾野を広げる取組みを進めた。

また、フォレストサイエンスゾーンでの実践的な技術研修や資格取得を支援し、就業者の技術力向上を図った。

(スマート林業課)

(4) 水産業の多様な人材育成・確保

誰もが徳島の漁業を学べる「とくしま漁業アカデミー」において、マリンサイエンスゾーンが有する人的・物的資源を活用しながら、浜を支える意欲ある担い手の育成・確保に取り組んだ。

また、漁業体験会の開催やSNSを活用した「アカデミー修了生」による漁村生活の情報発信などを通じ、本県漁業や水産物の魅力を若年層をはじめ広く周知するとともに、経営の不安定な就業初期の青年漁業者の定着に取り組む漁協に対する支援や、効果的なリカレント教育の実施により、新規就業者の定着を図った。

(農林水産政策課，水産振興課)

4 「サステイナブル(持続可能)」な農林水産業の実現

(1) 地球温暖化対策(適応・緩和)

地球温暖化がもたらす気候変動による農林水産物の生産への影響を回避・軽減するため、高温耐性を持つ水稻品種「あきさかり」の導入や水温上昇に対応した新たな養殖品種の作出など、高温環境下等での生産に適応する品種や技術を開発・普及するとともに、地球温暖化による生産環境の変化を有効に活用するため、熱帯性果樹の低コスト栽培技術の開発・実証などに取り組み、新たな農林水産ブランドの創出を目指した。

あわせて、二酸化炭素の吸収源となる森林を健全に育成するための間伐、再造林などの森林整備をはじめとする「緩和策」に取り組み、これらを両輪として、気候変動を迎え撃ち、「強靱な農林水産業」の実現を図った。

また、台風や集中的な豪雨による災害の未然防止のため、農業水利施設、農業用ため池及び治山施設の整備・保全などを推進した。

(もうかるブランド推進課，スマート林業課，水産振興課，農林水産総合技術支援センター，生産基盤課，森林整備課)

(2) 鳥獣による被害の防止

野生鳥獣による農作物等の被害対策をより効果的に進めるため、集落で取り組む侵入防止柵の整備や保守点検、地域における指導的役割を担う人材の育成など、集落ぐるみで実施する防護対策を推進するとともに、若手を中心とした狩猟者の育成・確保や関係機関との連携による生息状況等の調査・分析を進め、捕獲対策を強化した。

また、捕獲したシカやイノシシをジビエとして利活用する取組みについて、捕獲から消費まで一貫した総合的な対策を推進した。

(鳥獣対策・ふるさと創造課)

(3) 食育・木育と地産地消の推進

徳島の豊かな地域食材を活かし、健全な食生活の実践や野菜摂取量アップを図るため、関係機関や県民との協働により、日本型食生活や郷土料理をはじめとする地域の食文化の普及啓発活動、料理コンクールの開催や若手食育リーダーの育成・支援に取り組んだ。

また、県内に向け県産農林水産物の魅力を発信することにより更なる地産地消を推進するため、地産地消協力店と連携し、県産品の消費拡大や消費者への情報提供などに積極的に取り組んだ。

さらに、木育を推進し、県産材の魅力を発信するため、木育拠点「徳島 木のおもちゃ美術館」を令和3年10月にオープンするとともに、館内の案内役で森林の役割や木のおもちゃの遊び方を教える「おもちゃ学芸員」、木育の知識や技能を持つ「木育インストラクター」の養成や「とくしま木づかいフェア」、「徳島木育サミット」を開催した。

(もうかるブランド推進課, スマート林業課)

(4) 地域で育む農山漁村づくり

集落ぐるみで地域農業を支え、耕作放棄の防止や多面的機能の確保を図るため、「日本型直接支払制度」を効果的に活用するとともに、農地等の保全、農山漁村地域の活性化等に取り組む「ふるさと水と土指導員」の活動支援や、地域の実情に応じた生産基盤と生活環境の一体的な整備を行い、魅力ある地域づくりを推進した。

また、「地域の宝・棚田」が恒久的に維持されるよう、棚田地域の保全・活用の取組みを支援し、棚田地域の活性化を推進した。

さらに、徳島の林道に関する交通規制情報や林道マップなどを発信する「とくしま林道ナビ」を充実させ、多様化する利用者のニーズにワンストップで応えることで林道利用の推進を図り、中山間地域の活性化につなげた。

(鳥獣対策・ふるさと創造課, 農山漁村振興課, 森林整備課)

(5) 安全・安心な食料の安定的供給

「エンカル農産物」の需要拡大に対応するため、国際水準のGAP認証や有機JAS認証の取得を推進するとともに、農薬の適正使用の徹底、放射性物質検査の実施等により、安全で安心な食料の供給体制を整備した。

また、農業生産に由来する環境負荷の軽減を図るため、有機質資源の循環利用や、化学肥料・化学農薬の使用量低減による環境保全型農業を推進した。

(もうかるブランド推進課, 農林水産総合技術支援センター)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--------------------------------|----------------------------------|--|
| 1 ニューノーマル (新しい日常) への対応 | | |
| (1) 「しなやかな」 とくしまブラン ドの展開 | デジタル技術を活用した セールスプロモーション 事業 | 家庭内消費に対応した県産品の販売拡大を図るため、映像コンテンツやリモートツール等のデジタル技術を活用し、「新しい生活様式」に対応した消費宣伝スタイルを構築することにより、県産品のPRと販売促進に繋げた。 (8,747) |
| | 阿波ふうど機動力発揮ブ ランディング事業 | 県内外で県産品の認知度向上と販路拡大を加速するため、2台のPR車両の機動力と調理能力を活かした、徳島ならではのプロモーション活動を展開した。 (12,272) |
| | 阿波ふうど消費地プロ モーション進化事業 | 首都圏における飲食店等の実需者を通じたブランディング及び関西市場における県産品の販売を維持拡大するため、それぞれの実情やニーズに応じた生産及び流通のフォローアップ並びに販売対策を実施した。 (8,884) |
| | 「阿波ふうどツーリス ム」食の魅力発信事業 | 「徳島の食」の魅力や価値を再認識して県内外へその魅力を発信するため、「阿波ふうど繁盛店」と連携したメニューフェアを開催し、ツーリズム実現に向けた県内機運の醸成を図った。 (338) |
| | 阿波ふうど高付加価値化 事業 | 「とくしま特選ブランド」のプレミアム感を高め、販路拡大を促進することによる事業者の経営安定を図るため、商品の更なるブラッシュアップや新たな販路拡大を支援した。 (2,547) |
| | 阿波ふうどスペシャリス ト事業 | 徳島の食「阿波ふうど」の魅力や価値に共感するファンを全国に拡げるため、情報発信サポーターである「阿波ふうどスペシャリスト」の拡大や積極的な活動と交流を促進した。 (1,963) |
| | ターンテーブル魅力発信 事業 | 首都圏における「食」をテーマとした徳島の魅力発信や県産品の販路拡大を図るため、施設管理者から建物を借受し、「徳島の食をテーマ」とした「情報発信と交流の拠点」として、施設の安定的かつ効果的な運営を推進した。 (45,923) |
| | 「とくしまブランド推進 機構」展開事業 | マーケットイン型の産地づくりと県産品の販路拡大を加速するため、生産・流通・販売をトータルサポートする「とくしまブランド推進機構」の安定的な活動を推進した。 (32,900) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|------------------|---------------------------|---|
| (2) 選ばれる6次産業化の促進 | とくしまブランド新商流構築事業 | <p>ターンテーブルをハブ、首都圏にある飲食店をサテライトとして、首都圏一斉で、県産食材を使用したメニューフェアの開催など徳島の魅力発信を行った。また、新たなメニューの開発や商品のブランディングを行い、新たな販路開拓につながる取組みを支援した。</p> <p style="text-align: right;">(24,200)</p> |
| | とくしま「阿波ふうど」新しい物流促進事業 | <p>産直市を地域集荷拠点とした県内集荷・首都圏販売のテスト輸送を進め、県内JAの産直市と連携した出荷を実施した。また、高速バスを活用した貨客混載で県産品を輸送し、阿波ふうどフェアを開催した。</p> <p style="text-align: right;">(6,194)</p> |
| | 徳島食料産業・6次産業化交付金事業 | <p>6次産業化に取り組む農林漁業者等の商品開発や販路開拓を支援するため、相談窓口の設置、専門家の派遣及び人材育成研修を行った。</p> <p style="text-align: right;">(6,244)</p> |
| | 6次産業化商品の販路開拓協働事業 | <p>6次産業化に取り組む農林漁業者等の商品開発や販路開拓を支援するため、県、市町村、金融機関、関係団体等で組織する「とくしま六次産業化推進連携協議会」により、首都圏における展示商談会への出展支援や異業種交流会の開催等を行った。</p> <p style="text-align: right;">(14,052)</p> |
| | とくしま地域食農連携プロジェクト(LFP)推進事業 | <p>地域の農林水産物を地域産業の中で有効活用し、社会的課題解決と経済的利益の両立を図るため、地域の食と農に係る多様な主体が参画し、持続可能なローカルフードビジネスの創出に取り組んだ。</p> <p style="text-align: right;">(4,000)</p> |
| (3) 戦略的な海外展開 | ECサイト活用促進事業 | <p>新しい生活様式に対応した県産品の販売拡大を推進するため、ECサイトを活用した販売に関する相談窓口の設置、研修会の開催などにより、販売チャネルの構築を支援した。</p> <p style="text-align: right;">(8,925)</p> |
| | 農山漁村未来創造事業 | <p>グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組みを支援した。</p> <p style="text-align: right;">(52,919)</p> |
| | とくしまブランド海外プロモーション事業 | <p>新型コロナの影響で毀損した東・東南アジア等への販売ルートについて、「巣ごもり需要」への対応として小売りを中心に、品目・PRターゲットを重点化したプロモーションを展開した。</p> <p style="text-align: right;">(4,758)</p> |
| | 輸出事業者販路開拓支援事業 | <p>コロナ禍で渡航が制限される中、国内で開催される国際展示商談会の参加や、事業者が取り組む海外での「代理営業」に対し支援を行い、県産品の輸出拡大を図った。</p> <p style="text-align: right;">(1,819)</p> |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----------------------|-------------------------------|---|
| | 切り開け！新グローバルマーケット開拓事業 | コロナ禍で渡航が制限される中、現地で県産品を売り込む「現地特派員」の確保や、コロナ禍で拡大を続ける「越境EC」市場の獲得に向けた、マッチング機会の創出などに取り組み、国内に留まりながら行う販路開拓を支援した。 (11,045) |
| | G Iを活用！EU「とくしま三大香酸かんきつ」需要拡大事業 | EUにおいて、地理的表示保護制度(G I)に登録された「木頭ゆず」をはじめ、「すだち」、「ゆこう」の「とくしま三大香酸かんきつ」をリーディングブランドに、県産食材の更なる販路拡大を図るため、現地のシェフやバイヤーを対象に、リモートによるプロモーションを実施した。 (6,375) |
| | グローバル化に即応！農林水産物等輸出拡大事業 | 「ハラル市場」にチャレンジする事業者の育成や、「徳島ハラル商品」の売り込みとともに、意欲ある生産者等が実施する輸出事業計画の策定、生産体制の構築等を支援した。 (26,573) |
| | 徳島県産海外コールドチェーン構築事業 | 輸出拡大のボトルネックとなっている輸送コストの低減を図るため、EU向け輸送技術の確立や最適な鮮度保持技術を検証した。 (700) |
| | 検疫クリア！輸出型園地「倍増」事業 | 輸出相手国の検疫条件等に対応できる輸出型園地の拡大を図るため、「ゆず」、「すだち」等の植物検疫等に適合する園地を育成した。 (2,846) |
| | 木になる海外販売実装事業 | 渡航制限や、県内市場での製品需要の逼迫により、台湾との技術交流や米国へのトライアル輸出が中止となる中、台湾企業と県内企業によるWEB商談会の実施や、PR宣材の作成等、継続した県産材製品の海外輸出を進めた。 (1,690) |
| (4) 移住定住に向けた都市農村交流の促進 | 新たな「とくしま農林漁家民宿」創出事業 | 旅行形態の変化に対応し、「とくしま農林漁家民宿」への誘客促進を図るため、新型コロナウイルス感染症への対応やおもてなしスキル等を学ぶ実践的な現場研修や、とくしま農林漁家民宿を活用したモニターツアーを実施し、受入体制の強化や利用者の満足度向上による誘客の取組みを支援した。 (2,328) |
| | かんきつテラススマート農業交流事業 | 「かんきつテラス徳島」を拠点とした新たな交流や地域の活性化を図るため、スマート農業を学ぶモデル園地の整備や、フィールドワークの取組みを支援した。 (1,431) |
| | 未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業 | 農山漁村地域が持つ魅力や価値の向上を図り、関係人口を拡大することで、元気な農山漁村地域を実現するため、企業・大学等との協働活動を促進するとともに、農地等の保全、農山漁村地域の活性化や棚田地域における棚田の保全・活用の取組み等を支援した。 (7,170) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--|---|--|
| 2 危機事象に備えた「食料生産・供給体制」の強化 (1) 自然災害や家畜伝染病等への対応 ① 南海トラフ・直下型地震への対応 | 水産業協同組合指導費 地籍調査事業 農業版BCP現場力強化事業 広域営農団地農道整備事業 老朽ため池等整備事業 震災対策農業水利施設整備事業 漁港海岸保全施設整備事業 治山事業 | 沿海漁業協同組合におけるBCP策定を支援したほか、財務調査、経営計画の策定指導や、事業統合、合併等への取組みを支援した。 (21) 大規模自然災害が発生した場合の「被災後の早期復旧・復興」に対応するため、「防災・減災対策関連の重点エリア」である「津波浸水地域」、「中央構造線直下型地震地域」、「山地災害地域」、「洪水浸水想定地域」における地籍調査を促進した。 (1,166,655) 大規模災害からの速やかな営農再開を目的とした農業版BCPの事前対策である土地改良区BCPの策定を支援するとともに、実効性向上のための実地訓練を行い、土地改良区における非常時現場対応力の向上を図った。 (790) 農作物や農業用資機材の効率的な運搬と農村地域の生活環境の改善に資するとともに、災害発生時の孤立集落発生防止や、緊急輸送路を補完する農道整備を行った。 (546,899) 農地及び農業用施設にかかる災害の発生を未然に防止するため、老朽化した農業用ため池等の整備を実施した。 (500,389) 南海トラフ巨大地震等に備え、災害を未然に防止するため、農業用ため池等の土地改良施設の現状を確認し、施設の地震耐性評価・豪雨耐性評価を実施した。 (282,124) 漁港海岸における「地震・津波」対策として、「徳島県海岸保全基本計画」の中で、住民の生命を守ることを最優先に、「避難時間の確保」に必要な海岸保全施設整備に向けた設計を実施した。また、老朽化対策として護岸修繕工事を行った。 (136,370) 中山間地域の生活環境の保全を図るため、山地に起因する災害の早期復旧や未然防止を目的とした対策を計画的に実施するとともに、荒廃森林（保安林）の機能回復・強化を目的とした森林整備を実施した。 (2,970,375) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|----------------|----------------------|--|
| ② 自然災害への 対応 | 森林基盤整備事業 | 山村地域の保全を図るため、林業経営の効率化のみならず、災害時には緊急輸送路を補完する機能を併せ持つ林道の整備を推進した。 (2,444,019) |
| | 耕地地すべり防止事業 | 農林水産省農村振興局所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。 (568,387) |
| | 老朽ため池等整備事業 (再掲) | 農地及び農業用施設にかかる災害の発生を未然に防止するため、老朽化した農業用ため池等の整備を実施した。 (500,389) |
| | 漁港海岸保全施設整備事業 (再掲) | 漁港海岸における「地震・津波」対策として、「徳島県海岸保全基本計画」の中で、住民の生命を守ることを最優先に、「避難時間の確保」に必要な海岸保全施設整備に向けた設計を実施した。また、老朽化対策として護岸修繕工事を行った。 (136,370) |
| | 治山事業 (再掲) | 中山間地域の生活環境の保全を図るため、台風・豪雨等による荒廃林地の復旧、山地災害や流木被害の予防、水資源確保のための森林整備を実施した。また、併せて危険箇所や施設の調査・点検パトロールを実施した。 (2,970,375) |
| | 林野地すべり防止事業 | 林野庁所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。 (409,973) |
| | 県単独治山事業 | 住民の生命・財産を守るため、国庫補助の対象とならない小規模な荒廃森林の復旧整備工事を実施した。 (69,581) |
| | 治山流木緊急対策事業 | 流木による被害拡大を防止するため、人家等重要な保全対象の上流にある溪流内の不安定な樹木の除去を行った。 (10,570) |
| | 国庫補助関連事業 | 治山施設の長寿命化対策として、国庫補助の対象とならない小規模な機能強化工事を実施した。 (42,873) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|----------------------|--|--|
| ③ 家畜伝染病への対応 | 治山緊急浚渫事業 | 治山ダムに異常堆積した不安定土砂が、下流の保全対象に被害を及ぼすおそれがあるため、緊急的に土砂の除去を実施した。 (13,185) |
| | 「森林（もり）の番人」ステップアップ事業 | 森林の適正な管理を推進するため、地域に根ざした「森林（もり）の番人」の認定と資質の向上を図り、監視・情報収集体制を強化した。 (3,568) |
| | 徳島県産業動物獣医療安定確保推進事業 | 獣医療法に基づき本県産業動物獣医療の安定的確保を図るため、家畜保健衛生所職員の診療業務に係る技術習得等診療体制を整備した。 (1,647) |
| | 徳島県獣医師職員養成・修学資金貸与等事業 | 本県の家畜防疫対策や食の安全性確保対策等、重要な役割を担う獣医師職員を確保するため、獣医学生に対する修学資金の貸与を実施した。 (911) |
| | 家畜伝染病予防事業 | 高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生予防及びまん延を防止するため、家畜伝染病予防法に基づき検査等を実施した。 (18,134) |
| | 病性鑑定機能強化事業 | 家畜伝染病等による経済的損失を最小限に抑えるため、各種疾病を迅速かつ的確に診断するとともに、今後の発生予防など家畜防疫対策の指標とした。 (7,551) |
| | 牛海綿状脳症検査事業 | 牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、BSEの発生予防及びまん延防止を図り、安全な牛肉を供給するため、96ヶ月齢以上の死亡牛全頭についてBSE検査を実施した。 (4,883) |
| | 海外悪性伝染病防疫対策強化事業 | 海外悪性伝染病の侵入とまん延を防止するため、国と連携した検疫キャンペーンの拡充などの水際対策や野生鳥獣監視対策を強化するとともに、発生時の即応体制を強化した。 (6,626) |
| | 家畜保健衛生所機能強化事業 | 豚熱や鳥インフルエンザなどの家畜防疫対策を徹底するため、検査体制の維持・拡充を図り、家畜保健衛生所の機能を強化した。 (7,000) |
| 高病原性鳥インフルエンザ防疫体制強化事業 | 令和2年度の県内外における高病原性鳥インフルエンザの発生を踏まえ、「次期発生シーズンに向けた」防疫体制の強化を図るため、「発生予防」及び「まん延防止」に係る緊急的な対策を実施した。 (11,973) | |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----------------|-----------------------|--|
| (2) 強靱な生産基盤の整備 | | |
| ① 農業生産基盤の整備及び保全 | 規模拡大による「もうかる農業」サポート事業 | 農地利用の効率化・高度化による生産性の向上や農業経営の安定化につなげるため、「農地中間管理機構」による農地集積を支援するとともに、機構に農地を貸し付けた農業者に対して、機構集積協力金の支援を行った。 (84,773) |
| | とくしま耕作放棄地再生支援事業 | 農地の荒廃の抑制や耕作放棄地の解消を図り、地域の農地を次代へ継承するため、関係機関との情報共有を図るとともに、耕作放棄地解消の指導や関連事業などの周知・啓発活動を実施した。 (492) |
| | 強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業 | 担い手の経営発展を支援するため、「人・農地プラン」における地域の中心となる農業者等が経営規模の拡大や経営の多角化に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入に対し支援を行った。 (183) |
| | 担い手確保・経営強化支援事業 | 意欲ある農業経営体を育成するため、適切な「人・農地プラン」が作成されており、農地中間管理機構を活用している地区等において、売上高の拡大や経営コストの縮減などに取り組む地域の担い手が、融資を受けて農業経営体の発展に取り組む場合に必要な機械・施設の導入を支援した。 (22,335) |
| | 経営体育成基盤整備事業 | 農業の生産性の向上を図り競争力を高めるため、地域の実情に応じたきめ細やかな農業基盤の整備を推進するとともに、農地中間管理機構と連携し、担い手への農地集積を促進することにより、次代の農業生産を担う経営体の育成を行った。 (534,423) |
| | 広域営農団地農道整備事業（再掲） | 農作物や農業用資機材の効率的な運搬と農村地域の生活環境の改善に資するとともに、災害発生時の孤立集落発生防止や、緊急輸送路を補完する農道整備を行った。 (546,899) |
| | 地盤沈下対策事業 | 地下水の汲み上げ等に起因した地盤沈下により、機能低下した用排水施設の機能回復を図るため、農業用排水施設の整備を実施した。 (569,382) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----------------|---------------------|--|
| | 国営付帯県営農地防災事業 | 国営総合農地防災事業と一体で事業効果を発現させるため、関連事業として農業用排水施設等の整備を実施した。 (664,238) |
| | 県営かんがい排水事業 | 農業生産の基礎となる農業用水や排水等の水利条件を整備し、水利用の安定と合理化を図るため、排水施設の整備を実施した。 (125,098) |
| | 農業水利施設保全対策事業 | 既存の基幹的農業水利施設について、施設の長寿命化やライフサイクルコストの低減を図るため、施設の補修等を実施した。 (1,905,201) |
| | 農業水利施設保全合理化事業 | 既存の農業水利施設について、水利用・水管理の効率化・省力化、施設の安全性の向上を図るため、機能診断・機能保全計画策定を実施した。 (204,323) |
| | 吉野川下流域地区国営総合農地防災事業 | 吉野川下流域3市5町における農業用水の水質悪化、地下水の塩水化、農業水利施設の機能低下を改善し、良質な農業用水を安定的・効率的に供給するため、取水施設の統合（水源転換）、幹線用水路等の整備を行う国営総合農地防災事業の促進を図った。 (1,035,409) |
| | 那賀川地区国営総合農地防災事業 | 那賀川下流域における農業用水の水質保全、農業水利施設の老朽化を改善し、良質な農業用水を安定的・効率的に供給するため、幹支線用水路、取水堰等の整備を行う国営総合農地防災事業の促進を図った。 (513,626) |
| | 吉野川北岸二期地区国営かんがい排水事業 | 吉野川北岸4市3町における農業水利施設の老朽化の改善と耐震化整備を行い、良質な農業用水を安定的・効率的に供給するため、調整池や用水路等の整備を行う国営かんがい排水事業の促進を図った。 (63,379) |
| ② 林業生産基盤の整備及び保全 | 森林環境保全整備事業 | 森林の持つ多面的機能の維持・増進や、生物多様性の保全を図るため、施業の集約化や路網整備などによる低コスト化を進めつつ、計画的な森林整備を実施した。 (936,968) |
| | 公有林化推進事業 | 徳島の豊かな森林を次代へ引き継ぐため、基金を活用し、県有林化等の推進及び市町村有林化への支援を実施した。 (6,000) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|---------------|---|--|
| ③ 水産基盤の整備及び保全 | とくしま「新たな森林管理システム」推進事業 | 平成30年5月に制定された「森林経営管理法」に基づき、森林資源の適正な管理と流動化を図るため、森林所有者や林業事業者などのニーズを一元管理する「新たな森林管理システム」の構築に向けた取組みを推進した。 (16,142) |
| | 森林基盤整備事業（再掲） | 木材の搬出コストの低減や森林の適切な管理のため、林道及び林業専用道の整備を推進した。 (2,444,019) |
| | 県単独林道事業 | 林道の機能性や利便性の向上等を図るため、国庫補助の対象とならない林道の開設、改良、舗装等の助成及び県営による施設整備を実施した。 (77,970) |
| | 保安林整備管理事業 | 森林の適正管理や森林の持つ公益的機能の維持増進を図るため、保安林を計画的に指定するとともに、適正な維持管理を実施した。 (4,995) |
| | 「とくしま県版保安林」整備管理事業 | 水源地域の森林の公益的機能を高度に発揮するため、「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づく「とくしま県版保安林」に指定し、公的管理を推進した。 (3,052) |
| | 広域漁港整備事業 | 円滑な漁労活動に寄与するとともに、震災後の早期復旧に向け、岸壁や防波堤等の機能強化を図った。 (856,608) |
| | 水産物供給基盤機能保全事業 | 漁港の長寿命化対策のため、岸壁修繕工事や、突堤修繕工事の設計を行った。また、機能強化対策として防波堤の耐震化工事を行った。 (464,564) |
| | とくしま海岸漂着物地域対策推進事業 | 底引き網への混入、漁港内での漂着や滞留など、漁業活動の大きな障害である「海ごみ」の除去（回収、処分）を実施した。 (3,277) |
| 水域環境保全創造事業 | 沿岸漁業の安定的な発展と水産物の供給の増大に寄与するため、藻場造成を実施した。 (79,460) | |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--|-----------------------|---|
| (3) 水田・園芸農業の振興 ① 水田農業の振興 ② 園芸農業の振興 | 農山漁村未来創造事業 (再掲) | グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組みを支援した。 (38,631) |
| | 経営所得安定対策等推進事業 | 経営所得安定対策の円滑な実施を図るため、地域農業再生協議会等が行う制度周知、作付面積の確認、水田台帳の管理業務等を支援した。 (55,300) |
| | 県産米流通・拡大サポート事業 | 「あきさかり」の消費の拡大・定着化を図るため、県内外でのPR活動を展開するとともに、地酒ブランド「阿波十割」の消費拡大による酒米産地の振興を推進するほか、水稻種子の安定供給に向けた産地体制の強化を図った。 (2,878) |
| | 競争に打ち勝つ！徳島新たな米づくり展開事業 | 水田農業を核とした農業者等の経営安定を図るため、ブランド米づくり、作業効率化や低コスト化を可能にするスマート農業技術の実証・普及を図るなど、徳島ならではの米づくりを推進した。 (700) |
| | 農山漁村未来創造事業 (再掲) | グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組みを支援した。 (100,643) |
| | 勝ち抜く！園芸産地強靱化事業 | 本県園芸産地の生産振興を図るため、主要品目ごとの栽培技術、出荷調整作業及び物流に係る課題解決のための取組みの実施により、園芸産地リノベーションを推進し、園芸品目の生産拡大を図った。 (9,226) |
| | 藍増産事業 | すくも用タデ藍の増産を図るため、農機メーカー・藍師と連携して開発した藍の収穫作業の省力化や効率化に向けたタデ藍専用収穫機の導入支援を実施した。 (3,000) |
| | 野菜経営安定対策事業 | 生産者の経営に及ぼす影響を緩和し、次期作の確保と消費者への野菜の安定供給を図るため、対象市場において主要な野菜の価格が著しく低落した場合に、生産者に対して価格差補給金を交付した。 (150,399) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|------------|---------------------------|---|
| (4) 畜産業の振興 | 園芸産地生産体制強靱化事業 | 「施設園芸産地」の維持発展を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた品目の生産体制の強化に資する産地自らの次期作に向けた取組みについて支援した。 (28,879) |
| | 徳島県産香酸柑橘等の産地強化支援事業 | コロナ禍においても安定的な生産販売を図るため、遠隔地での新たな需要開拓に取り組むとともに、品質向上・付加価値向上等に向けた取組みを支援した。 (46,378) |
| | 徳島県産花きの需要喚起応援事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需要の冷え込みや販売額が低下する中、県産花きの需要喚起を図るため、県の公共施設や駅、空港、大型商業施設等を活用した、フラワーアレンジメントなどの展示及びPRを実施した。 (9,763) |
| | 農山漁村未来創造事業(再掲) | グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組みを支援した。 (61,056) |
| | 「とくしま三ツ星ビーフ」販路拡大強化事業 | 経済のグローバル化に対応し、畜産業の競争力強化を図るため、全国初となる「畜産GAP」の認定取得を要件とした「とくしま三ツ星ビーフ」の国内外での販路拡大を強化した。 (6,410) |
| | 「阿波とん豚」増産・流通システム確立事業 | 本県養豚産業の活性化を図るため、「阿波とん豚」を「豚熱」等家畜伝染病から回避するための措置として、精液及び受精卵を凍結保存することによる危機管理対策を行うとともに、阿波とん豚の学校給食提供及び食育活動用PR教材の作成を行い、阿波とん豚の流通促進及び知名度向上を図った。 (2,530) |
| | とくしまの酪農・乳用生産基盤事業 | 県民の需要に応じた牛乳・乳飲料の生産や、県産乳飲料の輸出に向けた体制整備のため、コロナ禍にも対応した生乳増産を担う人材育成の取組みを支援した。 (6,424) |
| | 「次代へつなぐ!とくしまの畜産」ブランド化推進事業 | グローバル化の進展に備え、県内畜産のブランド化や規模拡大・経営転換を推進するため、経営診断や指導、助言を実施した。 (452) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----|--------------------------------|--|
| | 肉用牛肥育経営安定対策担い手支援事業 | 肉用牛肥育農家の経営安定を図るため、収益悪化時に補てん金を交付する制度において、生産者積立金の造成に係る負担額への助成等を行った。 (7,193) |
| | 肉用子牛価格安定事業 | 肉用子牛生産農家の経営安定を図るため、肉用子牛価格の低落時に補給金を交付する制度において、生産者積立金の造成に係る負担額への助成を行った。 (2,997) |
| | 養豚経営安定対策担い手支援事業 | 養豚農家の経営安定を図るため、収益悪化時に補てん金を交付する制度において、生産者積立金の造成に係る負担額への助成を行った。 (5,295) |
| | 中規模酪農経営改善推進事業 | 中規模酪農家の収益力を強化するため、受精卵移植技術を活用した和子牛生産の定着と人工哺育・育成技術の高度化を図るとともに、牛群検定の普及を推進した。 (1,556) |
| | 家畜改良総合対策推進事業 | 酪農家や肉用牛農家の経営安定を図るため、受精卵移植技術を活用した牛の育種改良を推進するとともに、関係機関が連携し、受精卵の生産から移植、産子登録まで一貫した支援を行った。 (8,815) |
| | 自給飼料増産推進指導費 | 自給飼料基盤に立脚した畜産経営の育成を図るため、自給飼料増産・新技術の普及等を通じて、自給飼料の増産を推進した。 (235) |
| | 畜産バイオマス利活用推進事業 | 畜産経営における環境汚染の防止を図り、健全かつ安定的な畜産経営に資するため、総合的な指導を行った。 (379) |
| | 畜産バイオマス利活用整備事業（食鳥副産物有効利用促進事業） | 県内食鳥産業の振興と畜産環境の保全を図るため、県内で発生する食鳥副産物の適正処理・再資源化について支援した。 (20,883) |
| | 「新しい生活様式」に適應した県産畜産ブランド販路拡大強化事業 | 「阿波尾鶏」など県産畜産ブランドの需要喚起を図るため、外食産業等と連携した販路拡大、認知度向上の取組みや、学校給食への提供支援を行った。 (95,132) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|----------------|--|--|
| (5) 林業・木材産業の振興 | とくしまの酪農・乳業生産基盤強化事業 | 県、生産者団体及び乳業者の3者による「酪農振興の発展等による包括支援協定」に基づく取組みを支援し、本県の酪農経営と乳業工場の継続、発展につなげた。 (835,943) |
| | 学校給食等「阿波尾鶏」利用拡大事業 | 消費が落ち込んでいる県産畜産ブランド「阿波尾鶏」について、学校給食での提供や首都圏等における巣ごもり需要への対応により、需要喚起と利用拡大に取り組んだ。 (20,910) |
| | 県産牛乳プラスワンプロジェクト展開事業 | 外食需要減退の影響を受けている「県産牛乳」について、消費拡大につながるパッケージや関連資料を開発するとともに、本県酪農の理解醸成に繋がる動画を作成した。 (4,400) |
| | 農山漁村未来創造事業(再掲) | グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組みを支援した。 (29,988) |
| | 林業成長産業化徳島モデル創出事業 | 国から「林業成長産業化地域」の指定を受けた県南部地域において、県産材の生産増大につなげるため、エリアを越える円滑な流通と利用拡大を推進し、地域モデルの創出を支援した。 (10,695) |
| | 林業機械サポートセンター事業 | 県産材の増産を担う新たな人材の確保・育成を図るため、独立・起業や経営拡大を目指す林業事業者に対し、リースやレンタル方式による高性能林業機械の導入を支援した。 (14,000) |
| | 林業成長産業化推進事業 | 林業プロジェクトで取り組む県産材生産量の倍増を達成するため、主伐を見据えた高性能林業機械の導入や効率性の高い作業路網の整備を進め、県産材の増産体制を構築した。 (393,890) |
| | 東京オリ・パラ「徳島すぎ」レガシー創出事業 | 首都圏における「徳島すぎブランド」の販路拡大を図るため、製材JASの取得推進や、商流・物流を熟知し、情報ネットワークを有する「徳島すぎブランドエージェント」による営業活動を実施した。 (6,059) |
| もっと木にして子育て支援事業 | 県産材利用促進条例に則して木育の普及を図るため、木育拠点をモデル施設として運営し、木育の普及啓発活動を行うことで、県産材の利用拡大につなげた。 (1,957) | |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--------------------|--|--|
| (6) 水産業の振興 | 「徳島木のおもちゃ美術館」整備推進事業 | 木育の推進による県産材の魅力発信拠点となる「徳島木のおもちゃ美術館」の開館に向け、整備の推進や什器・おもちゃの製作を進めた。 (542,996) |
| | 徳島木のおもちゃ美術館管理運営費 | 木育拠点である「徳島木のおもちゃ美術館」の運営に際し、指定管理制度を導入した。 (35,200) |
| | 乾燥材供給体整備事業 | ウッドショックに対応するため、構造材の品質確保に向けて、人工乾燥機の導入支援と乾燥技術の研修会を実施した。 (23,491) |
| | 県産材安定供給対策事業 | 素材生産及び伐採後の再造林における作業の効率化に必要なスマート林業機械導入の支援を行った。 (19,748) |
| | 農山漁村未来創造事業(再掲) | グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組みを支援した。 (21,815) |
| | 資源管理型漁業推進事業 | 水産資源の保全と漁業経営の安定を両立させる資源管理型漁業を推進するため、漁獲情報の収集や資源動向を把握するための調査等を実施した。 (2,741) |
| | 種苗生産施設管理費 | 放流種苗を計画的に生産・確保するため、種苗生産施設の運営、管理を行った。また、新たに高水温を好み、県南における重要魚種であるトコブシの生産を開始した。 (141,991) |
| | 浅海内水面増殖対策費 | 河川における重要魚種であるアユの資源の維持・増大を図るため、漁業者が行う種苗放流に対し支援を行った。また、カワウによるアユなどの水産上重要な魚種に対する被害を防止するため、漁業者等が行う防除対策の取組みを支援した。 (3,016) |
| 魚づくり革命・もうかる養殖魚創出事業 | 新たな「徳島ブランド」を創出するため、温暖化に適応した南方系の高級魚であるキジハタを対象に新たな養殖技術の開発・導入に取り組んだ。 (2,320) | |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|------------------------|---------------------------|---|
| 3 「スマート農林水産業」の実装と労働力確保 | 鳴門わかめブランド力強化事業 | 鳴門わかめの産地偽装の再発防止とブランド力強化のため、加工段階における産地判別検査の強化や県内外における「鳴門わかめ認証制度」のPR等を実施した。 (2,281) |
| | 届け「海の幸」需要回復推進事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、価格の下落や需要の減退に見舞われた県産水産物の需要喚起を図るため、学校給食への食材提供や緊急的な「販売促進活動」等を支援した。 (111,204) |
| | 持続的漁業生産緊急支援事業 | 海水温の上昇により、水産資源としてさらなる活用が期待されるトコブシ、アジアカエビ等について、「標識放流」や「漁獲データ収集」などを実施し、気候変動に対応した新たな「資源管理型漁業」のモデルケースを構築するとともに、漁業関係者の事業継続を支援した。 (22,242) |
| | 水産物需要喚起推進事業 | 県漁連や市場関係者との連携の下、県内や首都圏の飲食店等に本県ならではの水産物を試供品として提供し、新鮮でバラエティ豊かな県産水産物の魅力発信と消費拡大につなげるキャンペーンを実施した。 (27,712) |
| | (1) スマート農林水産業の実装 | 漁海況予測システム構築事業 |
| | 生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業展開事業 | 作業の省力化や生産性の飛躍的な向上を図るため、IoT・AI等の先端技術を活用した新技術の開発を行うとともに、地域資源を活用した高付加価値化のための技術開発や新産業の創出に取り組んだ。 (13,210) |
| | 気候変動に打ち克つ農林水産適応技術開発プロジェクト | 地球温暖化をはじめ気候変動に適応し、競争力のある農林水産業の実現を図るため、気候変動による影響を回避・軽減する新品種・新技術の開発や、温暖化を効果的に活用した農産物のブランド創出に取り組んだ。 (12,554) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-------------------------------|--|---|
| (2) 農業・畜産業の 多様な人材育 生・確保 | 農林水産物の増産や販売力強化を支える研究開発事業 | 農林水産業の成長産業化を技術面から支えるため、生産現場の課題やニーズを的確に把握し、新たな技術や品種の開発を行った。 (10,669) |
| | 現場課題トータルサポート実装促進事業 | 多様化・高度化する生産現場の課題に対応するため、産学官連携により、現場ニーズに即した円滑な技術開発を行うとともに、技術の普及を推進するための現場実証を実施した。 (3,988) |
| | 5G活用！スマートファーマー育成事業 | 先端技術を駆使できる人材や現場の即戦力となる人材を育成するため、リアルタイム高精細映像による遠隔栽培指導等を実装した。 (8,569) |
| | 女性が変える未来の農山漁村づくり事業 | 次代を担う女性農業者の活躍促進やスキルアップを図るため、農業女子会を開催するとともに、女性が取り組む新たな農業ビジネスへのチャレンジを支援した。 (1,647) |
| | 農業経営者サポート事業 | 認定農業者、農業法人等の経営意欲のある農業者が創意工夫を活かした農業経営の展開を図るため、農業経営相談所が行う農業経営の法人化の促進や専門家派遣による経営改善活動への支援を行った。 (5,295) |
| | 農村青少年活動促進事業 | 農業への理解や就農への意欲を高め、地域農業の担い手としての資質向上を図るため、高校生を対象とした農業分野での人材育成のためのイベントを開催するとともに、農村青少年グループや青年農業士の活動を支援した。 (620) |
| | 農業の多様な働き方支援事業 | 新たな労働力として期待される外国人材、障がい者、アクティブシニア等の活躍を促進するため、専門家による「農業担い手コンシェルジュ」を設置するとともに、研修会等を実施した。また、高校生や大学生を対象に農業現場でのインターンシップを実施した。 (4,057) |
| | 農業人材力強化総合支援事業 | 次代を担う農業者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修を後押しする資金及び就農直後の経営確立を支援する資金を交付した。 (322,532) |
| 次代を担う農業人材・経営体育成事業 | 就農希望者の円滑な就農を図り、次代の担い手として育成・確保するため、農業法人等が実施する実践的な技術研修を支援した。 (23,334) | |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|------------------------|----------------------|---|
| (3) 林業・木材産業の多様な人材育成・確保 | アグリビジネスアカデミー運営費 | 農業のスマート化に対応できる人材を育成するため、就農を予定している社会人や生産技術を高めたい農業者を対象に「徳島かんきつアカデミー」や「施設園芸アカデミー」などを開講し、農業生産技術の基礎から実践に至る幅広い研修を実施した。 (9,719) |
| | とくしま林業アカデミー運営支援事業 | 新たな林業の担い手を確保するため、「とくしま林業アカデミー」の運営を支援するとともに、県内高校生等への啓発活動やU I J ターンによる人材確保を行った。 (45,000) |
| | 集まれ！山の学舎フォレストキャンパス事業 | 小・中・高・大学生の「職業としての林業」を意識付けるため、「フォレストキャンパス」を活用して、出前授業や林業体験を実施した。 (1,770) |
| | 来たれアクティブ・シニア植林隊事業 | 県内の森林を健全な状態に保つため、元気なシニアの方を対象に造林の担い手となってもらうための育成・実践研修を実施した。 (2,319) |
| | 主伐時代の経営体育成事業 | 主伐時代に向けた林業事業体の育成を図るため、経営診断等による体質改善を促すほか、現場指導者に対し、若手就業者に関するメンタリングマネジメント研修を実施した。 (2,569) |
| | とくしま林業リカレント支援事業 | 若手就業者と熟練者の世代交代をスムーズに進めるにあたり、早急にスキルアップを図る必要があるため、就業者を対象に、素材生産に必要な技術の習得を段階的に進め、高度な技術者の育成・増加を図った。 (9,636) |
| | もっと木にして子育て支援事業（再掲） | 県産材利用促進条例に則して木育の普及を図るため、木育拠点をモデル施設として運営し、木育の普及啓発活動を行うことで、県産材の利用拡大につなげた。 (1,957) |
| (4) 水産業の多様な人材育成・確保 | 漁業金融指導事業 | 漁業者等に対し金融機関が行う長期かつ低利の資金の融通を円滑にするため、利子補給を行い、漁業者等の経営の近代化や漁業生産の中核的担い手の育成を図った。 (9,000) |
| | とくしま漁業アカデミー運営事業 | 浜を支える意欲ある担い手を育成・確保するため、誰もが漁業を学べる「とくしま漁業アカデミー」の運営を支援した。 (17,410) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|------------------------------------|--|---|
| 4 「サステイナブル (持続可能)」な 農林水産業の実現 | とくしま漁業アカデミー 活性化支援事業 | 漁業の担い手確保を図るため、県内外の漁業就業希望者をターゲットとした本県漁業の魅力をPRする動画を製作するとともに、漁家子弟の研修生の生活を支援する本県独自の給付金を交付した。 (9,890) |
| | 人づくり革命・漁業リカ レント事業 | 「とくしま漁業アカデミー」卒業生の早期独立を促すアフターフォローや就業間もない青年漁業者の経営安定に向けた「資材購入費」等の支援を行うとともに、新規就業者からベテラン漁業者まで、就業段階に応じた研修を実施した。 (10,365) |
| (1) 地球温暖化対策 (適応・緩和) | 徳島森林づくり魅力発信 事業 | 森づくりの魅力を広く発信するため、カーボン・オフセットの仕組みを森づくりの分野に導入し、企業や県民等からの寄付金を活用し、植林や間伐等の森林整備を実施する「とくしま協働の森づくり事業」を推進した。 (4,954) |
| | 森林環境保全整備事業 (再掲) | 森林の持つ多面的機能の維持・増進や、生物多様性の保全を図るため、施業の集約化や路網整備などによる低コスト化を進めつつ、計画的な森林整備を実施した。 (936,968) |
| | 新世代種苗生産推進事業 | 採種徳園の改良を行い、遺伝的性質の優れた林業用種苗を供給し、林業の生産性の向上と健全な森林の造成に努めた。 (9,443) |
| | 養殖藻類の不作対策のため の「大規模現場実証試験」 の実施 | 近年の海域の貧栄養化により養殖藻類の不作が続く、厳しい経営を強いられている藻類養殖業者の事業継続を図るため、本県独自の「大規模な現場実証試験」を実施した。 (2,000) |
| | 気候変動に打ち克つ農林 水産適応技術開発プロ ジェクト (再掲) | 地球温暖化をはじめ気候変動に適応し、競争力のある農林水産業の実現を図るため、気候変動による影響を回避・軽減する新品種・新技術の開発や、温暖化を効果的に活用した農産物のブランド創出に取り組んだ。 (12,554) |
| | 使用済農業資材適正処理 対策事業 | 使用済農業生産資材の適正な処理を推進するため、県農業用廃プラスチック協議会の運営支援を行い、効率的な回収、処理体制の確立を図るとともに、排出農業者への意識啓発を行った。 (886) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|----------------|----------------------|--|
| | 老朽ため池等整備事業 (再掲) | 農地及び農業用施設にかかる災害の発生を未然に防止するため、老朽化した農業用ため池等の整備を実施した。 (500,389) |
| | 耕地地すべり防止事業 (再掲) | 農林水産省農村振興局所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。 (568,387) |
| | 治山事業 (再掲) | 中山間地域の生活環境の保全を図るため、山地に起因する災害の早期復旧や未然防止を目的とした対策を計画的に実施するとともに、荒廃森林(保安林)の機能回復・強化を目的とした森林整備を実施した。 (2,970,375) |
| | 林野地すべり防止事業 (再掲) | 林野庁所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。 (409,973) |
| | 県単独治山事業 (再掲) | 住民の生命・財産を守るため、国庫補助の対象とならない小規模な荒廃森林の復旧整備工事を実施した。 (69,581) |
| | 治山流木緊急対策事業 (再掲) | 流木による被害拡大を防止するため、緊急点検の結果に基づき、流木の発生原因となる溪流内の不安定な樹木の除去を実施した。 (10,570) |
| | 国庫補助関連事業 (再掲) | 治山施設の長寿命化対策として、国庫補助の対象とならない小規模な機能強化工事を実施した。 (42,873) |
| | 治山緊急浚渫事業 (再掲) | 治山ダムに異常堆積した不安定土砂が、下流の保全対象に被害を及ぼすおそれがあるため、緊急的に土砂の除去を実施した。 (13,185) |
| (2) 鳥獣による被害の防止 | 鳥獣被害に打ち勝つ「被害防止対策」の展開 | 鳥獣被害を防止するため、市町村等が行う有害鳥獣捕獲や侵入防止柵の整備等への支援や地域において被害防止対策の核となる「地域リーダー」の育成を行った。 (179,351) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----|--------------------------|---|
| | 「阿波地美栄」魅力発信・消費拡大パワーアップ事業 | 鳥獣による農作物被害の軽減と、ジビエ利用の推進を図るため、空白地域でのジビエ処理加工施設整備の推進や「阿波地美栄」の魅力を発信する「阿波地美栄×狩猟フェスタONLINE」の開催、ジビエ処理加工施設の衛生・技術向上のための「研修会」や「HACCP相談会」の開催、ジビエ肉の規格統一に向けた「カット技術講習会」など、消費拡大に向けた取組みを展開した。 |
| | | (18,205) |
| | 「阿波地美栄」供給体制強化事業 | ジビエの安定供給と肉質向上を図るため、シカ一時飼養の最適なプログラムを検討するとともに、飼料コストの低減に向けた、ゆず皮やおから等の地域資源の活用や一時飼養したシカの肉質分析を行った。 |
| | | (4,267) |
| | 徳島「阿波地美栄」消費回復・販路開拓事業 | 新しい生活様式に合わせ、コロナ禍でも堅調な「家庭需要」の開拓による消費拡大を図るため、「阿波地美栄」を活用したレトルト食品や冷凍食品等の加工品の開発を支援した。 |
| | | (4,000) |
| | 「阿波地美栄」販売定着化促進事業 | コロナ禍による外食需要減退の影響を受けた飲食店等を支援し、「阿波地美栄」の販路の拡大や定着化を図るため、飲食店等に対する「阿波地美栄」の仕入費用の助成や子ども食堂への提供等による消費拡大キャンペーン、飲食店等と処理加工施設とのマッチング、SNS等を活用したスタンプラリー等を実施した。 |
| | | (7,995) |
| | 「猪・鹿・猿 調査分析・集中捕獲」事業 | イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルによる農林業被害、人身被害などの軽減を図るため、剣山や三嶺及び県境付近での集中捕獲や、眉山周辺など市街地のイノシシ出没危険度調査などを実施した。 |
| | | (31,663) |
| | 「とくしま狩猟マイスター」への道プロジェクト事業 | 次世代の狩猟者を育成・確保するため、新たに狩猟免許を取得する者や狩猟免許所持者を対象に、狩猟の知識や実践的な捕獲技術に関する講座を実施した。 |
| | | (2,845) |
| | 指定管理鳥獣捕獲等事業 | 指定管理鳥獣（ニホンジカ・イノシシ）による農林業等への被害を防止するため、認定鳥獣捕獲事業者による捕獲を実施した。 |
| | | (92,903) |
| | 狩猟者育成確保対策事業 | 狩猟者による事故を防止するため、安全狩猟に関する技術講習会の開催や普及啓発活動を実施した。 |
| | | (1,487) |
| | ニホンザル適正管理事業 | ニホンザルによる農林業及び生活環境への被害を防止するため、出没調査や行動域調査などを実施した。 |
| | | (5,633) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-------------------|--------------------------------|---|
| (3) 食育・木育と地産地消の推進 | もっと木にして子育て支援事業（再掲） | 県産材利用促進条例に則して木育の普及を図るため、木育拠点をモデル施設として運営し、木育の普及啓発活動を行うことで、県産材の利用拡大につなげた。 (1,957) |
| | 「徳島木のおもちゃ美術館」整備推進事業（再掲） | 木育の推進による県産材の魅力発信拠点となる「徳島木のおもちゃ美術館」の開館に向け、整備の推進や什器・おもちゃの製作を進めた。 (542,996) |
| | 徳島木のおもちゃ美術館管理運営費（再掲） | 木育拠点である「徳島木のおもちゃ美術館」の運営に際し、指定管理制度を導入した。 (35,200) |
| (4) 地域で育む農山漁村づくり | 中山間地域等直接支払事業 | 中山間地域において農業生産活動の継続を図るため、平坦地域との生産条件の格差を是正し、農用地の維持・保全活動を支援した。 (248,821) |
| | 多面的機能支払交付金事業 | 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者等が行う水路・農道等の農業生産資源の基礎的保全活動や農村環境の保全、農業用施設の長寿命化のための活動を支援した。 (486,094) |
| | 中山間地域農村活性化総合整備事業 | 農業の生産条件等が不利な中山間地域において、農作業の省力化や生活環境の改善を図るため、農業用排水、農道など生産基盤の整備、また、集落道、営農飲雑用水の生活環境基盤整備を総合的に実施した。 (455,157) |
| | 集落基盤整備事業 | 農業振興地域において、農業生産性の向上を図るため、土地改良区が実施する農業用排水施設整備を支援した。 (81,552) |
| | 未来へ「つなぐ！」農山漁村（ふるさと）元気づくり事業（再掲） | 農山漁村地域が持つ魅力や価値の向上を図り、関係人口を拡大することで、元気な農山漁村地域を実現するため、企業・大学等との協働活動を促進するとともに、農地等の保全、農山漁村地域の活性化や棚田地域における棚田の保全・活用の取組み等を支援した。 (7,170) |
| | 森林基盤整備事業（再掲） | 林道利用者の多様化するニーズに対応するため、ワンストップで応える「とくしま林道ナビ」の掲載情報を充実させるとともに、更なる利用促進を図った。 (2,444,019) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--------------------|----------------------------|--|
| (5) 安全・安心な食料の安定的供給 | とくしまエシカル農産物GAP等ステップアップ支援事業 | SDGsの達成に貢献する農産物の需要に対応する産地づくりのため、生産者の国際水準GAP認証取得へのステップアップや有機JAS認証取得を推進した。 (8,994) |
| | とくしまエシカル農産物ターゲットセールス推進事業 | 安全・安心な食材である「GAP認証農産物」や環境負荷を軽減する「有機農産物」等の「とくしまエシカル農産物」の消費を拡大するため、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等への食材提供や消費者へのPRイベントを実施した。 (9,031) |
| | 環境保全型農業支払事業 | 農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るため、農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を支援した。 (13,107) |
| | 病虫害総合防除推進事業 | 農薬の適正使用を推進するため、農薬及びその取扱いに関する正しい知識の普及・啓発を行うとともに、化学農薬のみに依存しない総合的病虫害雑草管理（IPM）技術を推進し、農業生産の安定化と環境負荷低減を図った。 (2,169) |
| | 持続可能な農業づくり対策事業 | 土壌分析や肥料の品質の確保等に関する法律等の適切な運用を通じて、有機質資源の循環利用を基本とした土づくりと、化学肥料や化学農薬の使用量を少なくした環境にやさしい農業を推進した。 (1,910) |
| | 農作業安全確保加速化事業 | 担い手の確保と生産力強化を図るため、新機能を有した農業用機械等の技術展示と農作業安全運動の強化に取り組むことで、農業者の適切なリスクマネジメントの実践を支援した。 (3,449) |

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位:円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較 |
|--------------------------------|----------------|----------------|----------------|-----------|-----------|---------------------------------|
| 農 林 水 産 政 策 課 | 840,883,000 | 763,233,031 | 763,233,031 | 0 | 0 | △ 77,649,969 |
| もうかるブランド推進課 | 1,555,594,500 | 1,224,522,458 | 1,224,522,458 | 0 | 0 | △ 331,072,042 |
| 鳥獣対策・ふるさと創造課 | 458,174,000 | 465,555,092 | 465,555,092 | 0 | 0 | 7,381,092 |
| 畜 産 振 興 課 | 1,156,735,000 | 1,099,159,643 | 1,099,159,643 | 0 | 0 | △ 57,575,357 |
| ス マ ー ト 林 業 課 | 6,542,671,000 | 4,019,556,465 | 4,019,556,465 | 0 | 0 | △ 2,523,114,535 |
| 水 産 振 興 課 | 272,576,000 | 256,593,324 | 256,593,324 | 0 | 0 | △ 15,982,676 |
| 漁 業 調 整 課 | 10,497,000 | 8,730,140 | 8,730,140 | 0 | 0 | △ 1,766,860 |
| 農 林 水 産 総 合 技 術 支 援 セ ン タ ー | 714,419,050 | 543,982,773 | 543,982,773 | 0 | 0 | △ 170,436,277 |
| 農 山 漁 村 振 興 課 | 2,040,931,000 | 1,530,816,563 | 1,530,816,563 | 0 | 0 | △ 510,114,437 |
| 生 産 基 盤 課 | 8,535,930,061 | 5,793,767,482 | 5,793,767,482 | 0 | 0 | △ 2,742,162,579 |
| 森 林 整 備 課 | 5,911,416,000 | 3,935,519,831 | 3,932,392,831 | 0 | 3,127,000 | △ 1,979,023,169 |
| 計 | 28,039,826,611 | 19,641,436,802 | 19,638,309,802 | 0 | 3,127,000 | △ 8,401,516,809 |

(2)歳出決算額

(単位:円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 | 予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較 |
|--------------------------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------------------------|
| 農 林 水 産 政 策 課 | 1,647,367,480 | 1,540,850,434 | 16,377,000 | 90,140,046 | 106,517,046 |
| も う か る ブ ラ ン ド 推 進 課 | 2,119,070,500 | 1,776,654,344 | 245,600,000 | 96,816,156 | 342,416,156 |
| 鳥 獣 対 策 ・ ふ る さ と 創 造 課 | 724,809,924 | 708,440,231 | 3,150,000 | 13,219,693 | 16,369,693 |
| 畜 産 振 興 課 | 1,691,498,000 | 1,545,549,054 | 28,400,000 | 117,548,946 | 145,948,946 |
| ス マ ー ト 林 業 課 | 8,682,416,000 | 5,748,373,334 | 2,753,846,500 | 180,196,166 | 2,934,042,666 |
| 水 産 振 興 課 | 617,875,000 | 592,706,548 | 1,500,000 | 23,668,452 | 25,168,452 |
| 漁 業 調 整 課 | 275,975,000 | 264,592,075 | 0 | 11,382,925 | 11,382,925 |
| 農 林 水 産 総 合 技 術 支 援 セ ン タ ー | 3,332,534,280 | 3,069,418,984 | 138,657,100 | 124,458,196 | 263,115,296 |
| 農 山 漁 村 振 興 課 | 3,284,292,720 | 2,449,161,477 | 825,654,406 | 9,476,837 | 835,131,243 |
| 生 産 基 盤 課 | 15,522,378,552 | 10,723,129,560 | 4,378,375,189 | 420,873,803 | 4,799,248,992 |
| 森 林 整 備 課 | 10,378,664,000 | 6,912,141,392 | 3,399,539,000 | 66,983,608 | 3,466,522,608 |
| 計 | 48,276,881,456 | 35,331,017,433 | 11,791,099,195 | 1,154,764,828 | 12,945,864,023 |

2 特別会計決算額

(1)歳入決算額

(単位:円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較 |
|---------------|----------------------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|---------------------------------|
| 農 林 水 産 政 策 課 | 農業改良資金貸付金 特 別 会 計 | 3,160,000 | 30,300,894 | 16,401,880 | 0 | 13,899,014 | 13,241,880 |
| | 林業改善資金貸付金 特 別 会 計 | 198,000 | 280,110,105 | 275,507,703 | 0 | 4,602,402 | 275,309,703 |
| | 沿岸漁業改善資金 貸付金特別会計 | 1,064,000 | 302,412,625 | 302,412,625 | 0 | 0 | 301,348,625 |
| | 計 | 4,422,000 | 612,823,624 | 594,322,208 | 0 | 18,501,416 | 589,900,208 |
| ス マ ー ト 林 業 課 | 県有林県行造林事業 特 別 会 計 | 229,118,000 | 215,150,403 | 215,150,403 | 0 | 0 | △ 13,967,597 |
| | 港湾等整備事業 特 別 会 計 | 0 | 929,216 | 929,216 | 0 | 0 | 929,216 |
| | 計 | 229,118,000 | 216,079,619 | 216,079,619 | 0 | 0 | △ 13,038,381 |
| 合 計 | | 233,540,000 | 828,903,243 | 810,401,827 | 0 | 18,501,416 | 576,861,827 |

(2)歳出決算額

(単位:円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較 |
|---------------|----------------------------------|-------------|-------------|--------|------------|---------------------------------|
| 農 林 水 産 政 策 課 | 農 業 改 良 資 金 貸 付 金 特 別 会 計 | 3,160,000 | 2,943,999 | 0 | 216,001 | 216,001 |
| | 林 業 改 善 資 金 貸 付 金 特 別 会 計 | 198,000 | 108,000 | 0 | 90,000 | 90,000 |
| | 沿 岸 漁 業 改 善 資 金 貸 付 金 特 別 会 計 | 1,064,000 | 1,006,350 | 0 | 57,650 | 57,650 |
| | 計 | 4,422,000 | 4,058,349 | 0 | 363,651 | 363,651 |
| ス マ ー ト 林 業 課 | 県 有 林 県 行 造 林 事 業 特 別 会 計 | 228,868,000 | 206,998,495 | 0 | 21,869,505 | 21,869,505 |
| | 港 湾 等 整 備 事 業 特 別 会 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 228,868,000 | 206,998,495 | 0 | 21,869,505 | 21,869,505 |
| 合 計 | | 233,290,000 | 211,056,844 | 0 | 22,233,156 | 22,233,156 |

